



NO. 936

2013/9/15

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二・四四五八
F 四三二・四四五七



強まる期待!

乳幼児医療費無料化を求める請願

2年前の9月議会に提出し、継続審査となっていた「乳幼児医療費制度を拡充し、就学前まで無料化することを求める請願」が、12日の生活福祉委員会で審査されます。この間、数回の審査をし、全員の一致に至らず継続審査になっていました。

この度、請願団体である新日本婦人の会網走支部が、新たにアンケート調査した資料を委員長をはじめ各会派に届け、賛同の要請をしていました。子育て世代のみなさんから「採択」への大きな期待を受けての審査となります。

生活福祉委員の松浦議員は、管内で一番遅れている網走の状況を、せめて「就学前まで無料化を実現させたい」と決意を語っていました。



市議会第3回定例会が開会 各会計決算と補正予算案を提案

今後の議会日程

第3回定例会は10日に開会され、会期を10月1日までの22日間と決めました。

- 12日 総務・文教委員会10時
生活・福祉委員会13時
- 13日 経済・建設委員会10時
- 18日～20日 一般質問
- 24日～26日 決算審査特別委員会
- 30日 決算委員会取りまとめ
- 10月1日 審査報告・討論・採決



いよいよ東奔西走?

56年ぶりに東京にオリンピック。パラリンピックがやってきます。新聞やテレビを見ると連日、関連記事や番組のオンパレードです。たしかに「スポーツを通じて国際平和と友好を促進する」というオリンピック精神の実現のための開催には異議はありません。

しかし、多くの反対があったことも忘れてはなりません。11日には東日本大震災から2年半を迎えました。復興への足取りは遅々として進まず、約29万人が今も避難生活を強いられています。福島第一原発の事故は原因究明できず、汚染水漏れは危機的状況にあると言われ、「オリンピックの開催意義はわかるが、今は復興が先ではないか」といった声は当然だと思えます。

だが、この懸念の声を安倍首相は招致演説の中で、「状況は完全コントロールされており、健康問題も全く問題ない」大見えをきり、これが招致の決め手となったとか。それでも、汚染水流出原因は今もわからず海に流れている。

「制御困難をコントロールしている」と国際公約した安倍首相、被災地への説明責任と国際社会へのその根拠を明らかにする責任があります。

松浦奮戦も?

内閣府が9日に発表した4～6月期の国内総生産(GDP)改定値は、実質で0.9%増(年率換算3.8%)となりました。安倍政権は来年4月からの消費税率引き上げに「好材料」と受けとっています。国民生活の実態と日本経済の現状は消費税増税に耐えられるとは到底いえません。

厚生労働省の調査でも、労働者の年間平均賃金は1997年の446万円をピークに減少し、2012年には377万円と15年間で約70万円も下落しました。こんな状況で増税したら、駆け込み需要に伴う反動減に加え、増税による所得減のために、大幅に個人消費が冷え込みます。

GDPの6割近くを占める個人消費が低迷すれば、国民の生活も日本経済も奈落の底に落ちることになります。15年前に、私たち国民は経験をしています。だから消費税増税に今も過半数の国民は反対しているのです。

流水

読者の皆さんお盆はどう過ごされましたか。お盆といえは盆踊り、日本三大盆踊りといわれるのが西馬内盆踊り、阿波踊り、郡上踊りです。以前お盆の十五日に行つて踊った郡上踊りの哀愁が今でも忘れられません。盆踊りは繁栄を祈願し、戦などで亡くなった人を供養する行事として始まったようですが郡上踊りも戦に出る行く村人を「雨も降らぬに袖しほる」の歌詞のとおり涙をこらえて無事を祈る踊りといわれ四百年の伝統があります。毎年七月中旬から九月上旬まで続く踊りは現在は農作業の稲束を投げる所作や下駄で湿田を歩く動きや馬の手綱を引く動作などそれぞれに人間の生活の営みの中です。生まれて十種類ほどあります。▼普段は冷たく澄んだ水が町の中を流れる静かな郡上八幡ですが八月十三日から十六日まで毎夜町中が徹夜で踊ります。ア、ヨイヤナ、ヤートセのかけ声で下駄をカチカチ鳴らす「やっちく」やしなやかに両手を合わせ山形を作る田植え歌の「かわさき」など生演奏の三味線、鉦、歌が織りなす音頭が気がつけば踊りの輪の中に入っていました。初めて訪れた誰もが踊りと町の魅力にとりつかれてしまいます。▼数百年もの昔から継承されてきた盆踊りも戦争で中断されたことがあつた踊り、音頭をこれが創り出した踊り、音頭をこれからも中断させることなくずっと平和の中で繋がってほしいものです。(U)